

千郷 地域協議会だより



令和4年8月発行
第36号

千郷自治振興事務所（新城市役所本庁3階）
☎0536-23-7697 / FAX0536-23-2002
事務局：担当 宮本博之

令和4年度 千郷地域活動交付金審査会を開催しました。

▼本年度は8件の申請団体による事業が採択されました!!

本年度は4月1日(金)から5月31日(火)の募集期間を設け申請を受付しました8件について、令和4年6月19日(日)の午後1時より西部公民館多目的ホールにて審査会が開催され、申請された8件のうち『千郷地域活動交付金審査会(第3回千郷地域協議会)』により、すべての申請事業が採択されました。

(※下の採択団体一覧表をご覧ください。)



令和4年度 千郷地域自治区地域活動交付金採択団体一覧表

	団体名	交付決定額	事業名	事業概要
1	ちさと郷土研究会	492 千円	『千郷物語マップ』・『千郷八城小幟』・『野田城の戦い 450 年小幟』作製事業	千郷地域が舞台となった「野田城の戦い」から 450 年を迎える。この節目の年を迎えるにあたり、本会として小さなアクションを起こし、地域に発信することで機運を盛り上げたいと考え、同時に野田城以外のこうした千郷地域の歴史遺産や自然、伝統・文化など、多くの地域の魅力にも目を向け情報発信等を行う事により、地域住民にも地域の魅力を再認識、また再発見をしてもらうことで、関心を持っていただき、地域の活性化や郷土愛の向上を図る活動を実施する。具体的には、地域の様々な歴史遺産や自然などの情報をまとめたマップ作製を行い、主に小中学校や各行政区に配布、そのほかに千郷地域内にある八箇所のお城に関する小幟をそれぞれ浸しみの持てるデザインと共に作製、また、野田城の戦い 450 年の小幟も作製し現地など広く地域住民や市内外の方々にも見える場所に設置を実施する。
2	ちさと郷土研究会	499 千円	『千郷物語』作製・活用事業	千郷地域における郷土学習の読み物として『千郷物語』と題した千郷地域の郷土に関する具体的なお話しを、どなたでもわかりやすく理解できるように読めるような物語として執筆のうえ本として作製し、主に小中学校における地域の歴史学習における教材のひとつとして提供し有効に活用していただくほか、併せて文化財の保護に役立てる取り組みを実施する。
3	川田原区自治会	108 千円	川田原公民館を利用した区民活動活性化事業	コロナ禍で、様々な行事等中止や規模縮小で、自宅にこもる事が多くなってしまった。しかし、地域住民相互のコミュニケーションを深め、孤立、孤独にならないよう、住民が集える場所の提供が必要であると考えている。そこで、川田原区での様々な屋外での一定の距離を確保し催しが開催できるようワイヤレスアンプを購入、また最大限活用し、地域住民が安心して様々な催しに参加できる環境を整え交流の場を作る。

4	片山区自治会	226 千円	公民館・広場整備事業	地区の拠点である片山公民館の広場に設置されている枕木が、設置後2 2年が経過し永年劣化により腐食していることから、土留めとしての効果がなくなってきており、昨今の大雨降雨時には土砂流出により広場使用にも支障が出ている。このため、古くなった枕木を取り除き、再度新たな枕木を設置することで、土留めの役割を復活させることで、地域住民の様々な活動の支障を取り除き、安心安全な広場を確保することにより、今まで以上に公民館利用が活発に行われることにより、地域住民同士の交流促進と、あわせて地域の活性化を図る事とする。
5	稲木 GHC 委員会	500 千円	健康づくり促進化事業	稲木区民をはじめ、千郷地域住民の健康維持や促進を図るため、稲木地内に散歩コースを整備する。具体的にはコース内には休憩ができるような簡易なベンチを設置するほか、コースの順路を示した印刷物（パンフレット等）を作製し、多くの地域住民の方に散歩に出かけていただけるよう散歩啓蒙活動を広く実施することで、健康維持だけでなく、千郷地域住民同士の交流の場の提供ができる活動を実施する。
6	豊島区自治会	207 千円	豊島区にコミュニティー広場を	豊島区民や隣接地区との交流を図るため、豊島区に多目的広場を地域住民の手で作り上げる。具体的には豊島区で今までに無かった公園の代わりとなるコミュニティー広場を作り、憩いの場として今後豊島区民のみならず、他地区との交流のできる場所とする。本年度はグラウンドとしての活用を目的とした整備や休憩所の設置、また、植樹や広場の名称と注意書きを明示した看板設置をそれぞれ実施し多くの方に利用して貰えることを目指す。
7	中市場区自治会	117 千円	大野田城跡整備事業	大野田城跡は中市場区の西に位置し、中市場区民はここを「城藪の草刈り」と呼んで管理してきた。おそらく戦国時代から継続されてきたことと推測できるが、昨今、人力不足により荒地になりつつあり、防犯上も好ましくない。手遅れになる前に、5年間を目標にしっかり整備し、明るく防犯的にも不安の無い場所にしたい。いずれは大野田城跡の土塁や空堀が見学できる散策路を整備し、区民の誇れる史跡として管理して行く事を目的に整備を実施する。本年度は具体的な活動として、倒木や伐採木の除去、また一部竹藪となっている場所の竹を粉碎機等を利用し除去を行う。そうすることにより、今は立ち入る事を躊躇する荒地が、明るく風通しも良くなり、防犯的な面でも不安も少なくなると考えている。
8	千郷西こども園 保護者会	51 千円	木育講座	自然に囲まれた新都市に住む子ども達のため、主に年長児を中心とした木育講座を開催する。具体的な内容としては、外部の講師をお招きし、子ども達にもわかる講話と、カンナ屑や積み木、木のコマなど、実際に木に触れて遊ぶ体験型講座を実施する。こうしたことがきっかけとなり、森の木が自分達の生活にどう繋がっているのかを知ることで、自然の大切さや、緑豊かな地元への愛着を深めてもらえることが期待できる。

